

## 総合周産期母子医療センター新生児科

2019年度総入院数は393人(前年比+18.7%)であった。2018年11月末～2019年3月末まで新生児病棟(NIU, GCU)の感染防御対策のために閉鎖したが、2019年4月から再開し新規入院を受け入れたためによる増加率であり、総入院数としては例年相当であった。少子化とは関係なくハイリスク新生児の入院数は年間400人程度で安定している。入院の内訳は、在胎週数が未熟で出生体重の小さい超低出生体重児(出生体重1000g未満)が41人(前年度より+4人)、極低出生体重児(出生体重1000-1500g未満)が32例(前年度より-8人)、低出生体重児(出生体重1500-2500g未満)が114例(前年度より+13人)であった。超・極低出生体重児は合わせて総入院数の18.6%であった。在胎期間別内訳は22-24W:12例、25-27W:27例、28-30W:23例、31-33W:37例、34-36W:57例、37W以上:237例であった。重症新生児仮死や遷延性肺高血圧症、胎便吸引症候群、重症新生児仮死などの出生体重2500g以上の児は206例で総入院数の52.4%であった。NICU入院中の新生児手術件数は42件であった。

さいたま赤十字病院産科からの入院は187件で、総入院数の47.6%であり、分娩立会い件数は173件で総入院数の44.0%であった。院外からの新生児搬送入院は209件で、新生児ドクターカーによる院外新生児搬送件数は56件であった。

埼玉県遠隔胎児診断支援システムを活用し、先天性心疾患・先天性外科疾患が胎児診断され当センターNICUに入院した児は69例であった。NICU入院後に治療介入が必要だった先天性心疾患症例は35例、外科系疾患症例は21例で埼玉県内全域の総合・地域周産期産科および新生児施設から紹介されていた。

特殊治療としては人工換気療法170件(入院患児の43.5%)、サーファクタント補充療法50件、一酸化窒素吸入療法14件、脳低温療法18件、血液透析3件、ECMO 1件、であった。

死亡数は8例で剖検率は87.5%であった。染色体異常・奇形症候群などで死亡したのは5例(拡張型心筋症:1例、気管無形性:1例、先天性横隔膜ヘルニア(e/oLHR25以下):2例)で、それ以外で死亡したのは3例(重症新生児仮死)であった。死亡率:在胎期間別22-24W; 0.0%(0/12)、25-27w; 0.0%(0/27):出生体重別~499g; 0.0%(0/2)、500-999g; 2.6%(1/39)、1000-1499g; 3.1%(1/32)。

2019年度在籍常勤医(12名):清水正樹(総合周産期母子医療センター長、新生児科部長兼科長)、川畑 建(副部長、NICU病棟長)、菅野雅美(副部長、GCU病棟長)、采元 純、閑野将行、閑野知佳、今西利之、栗田早織、伊藤一之、藤沼澄江、苑田輝一郎、角谷和歌子、小竹悠子、西岡真樹子(循環器科出向中)、常勤的非常勤(4名)

出生体重別入院数

入院数	出生体重						合計
	～499g	500～999g	1000～1449g	1500～1999g	2000～2499g	2500g～	
2019	2	39	32	54	60	206	393
2018	5	32	44	53	48	149	331
2017	1	53	36	57	60	217	424
2016	1	14	26	40	53	238	372
2015	0	16	22	67	77	250	432

在胎期間別入院数

入院数	在胎期間						合計
	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	
2019	12	27	23	37	57	237	393
2018	15	19	24	54	59	160	331
2017	19	24	34	55	53	239	424
2016	6	12	11	21	55	266	371
2015	4	8	10	53	81	276	432

出生体重別・在胎期間別死亡率

2019年度	22-24W	25-27W	28-30W	31-33W	34-36W	37W～	合計
入院数	12	27	23	37	57	237	393
死亡数	0	0	2	2	2	2	8
死亡率	0.0%	0.0%	8.7%	5.4%	3.5%	0.8%	2.0%

  

2019年度	～499g	500～999g	1000～1449g	1500～1999g	2000～2499g	2500g～	合計
入院数	2	39	32	54	60	206	393
死亡数	0	1	1	1	2	3	8
死亡率	0.0%	2.6%	3.1%	1.9%	3.3%	1.5%	2.0%

超低出生体重（出生体重 1000g 未満）の主な治療および退院時予後（2019 年度）

在胎週数	n	院外出生	CLD28	CLDステロイド	CLD36	PDA手術	晩期循環不全	IVH 1-2	IVH 3-4	PVL	敗血症	壊死性腸炎	特発性消化管穿孔	難聴	ROP治療	死亡数	HOT導入
22-23w	6	0	6	1	5	2	1	1	2	0	0	1	0	0	2	0	3
24-25w	13	0	13	1	5	1	3	3	4	0	0	0	0	1	2	0	2
26-27w	6	2	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28-30w	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30w-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

主な治療

	2015	2016	2017	2018	2019
人工呼吸換気	211	181	182	157	170
STA補充療法	82	57	75	59	50
NO吸入療法	18	11	16	16	14
脳低体温療法	18	26	13	13	18
血液透析	2	3	5	3	3
ECMO	0	2	1	1	1

主な先天性疾患（2019 年度）

先天性心疾患		先天性外科疾患	
大血管転位症	6	消化管閉鎖	12
兩大血管右室起	12	総排泄腔遺残	2
大動脈縮窄症/	10	横隔膜ヘルニア	3
総動脈管幹症	1	臍帯ヘルニア	2
左心低形成	2	CCAM/CPAM	2
単心室症	3	気道閉鎖	2
大動脈弁閉鎖	1	髄膜瘤	9
肺動脈弁閉鎖	6	脳腫瘍	2
三尖弁閉鎖	3	尿路奇形	1
総肺静脈還流異常	3		
Ebstein奇形	1		

剖検率

剖検率	
2019	87.50%
2018	58.30%
2017	25.0%
2016	50.0%
2015	45.5%

胎児診断例

胎児診断例	69
心疾患	35
外科系疾患	21
その他	15

（重複あり）